

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	市民文化スポーツ局スポーツ部 スポーツ振興課
評価対象期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立桃園市民プール等 6スポーツ施設	施設類型	目的・機能
	所在地	八幡東区桃園三丁目1番6号等		
	設置目的	スポーツの普及及び振興を図り、市民の心身の健全な発達及び明るく豊かな市民生活の形成に資する		
利用料金制	非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制			
	インセンティブ制 有・無		ペナルティ制 有・無	
指定管理者	名 称	スピナ・シンコースポーツ共同事業体		
	所在地	八幡東区平野二丁目1番1号		
指定管理業務の内容	1 管理運営に関する業務 ・受付、使用許可に関する業務（利用調整、許可に係る業務） ・清掃、警備、建物等保守点検業務 2 その他管理運営業務 ・事業計画書及び収支計画書の提出 ・関係機関との連絡調整 ・地域や類似施設との連携に関する業務 3 利用促進に関する業務 ・イベントや広報活動等による利用促進など 4 自主事業 ・市民のスポーツ振興に資する事業（スポーツ教室等）等の実施など			
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日			

(2) 利用者の満足度

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

【所見】

【施設利用について】

満足度	R2年度	R3年度
目標値	90.0%以上	91.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	97.7% (49.1%・48.6%)	98.5% (58.7%・39.8%)

【職員対応について】

満足度	R2年度	R3年度
目標値	95.0%以上	95.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	98.4% (50.0%・48.4%)	98.1% (61.7%・36.4%)

※ ・・・評価対象年度

- 施設利用、職員対応共に利用者満足度の目標値を上回り、高い評価を得ている。
- 苦情や要望などに迅速に対応し、検討の結果すぐには実現できないことに関しても申し入れた利用者丁寧に理由を説明し、納得してもらうよう取り組んでいる。
- 各事務所に「お客様の声掲示板」に設置し、利用者に対し苦情や意見等の回答の“見える化”を図っている。
- 水泳大会等に伴う水位変更、合宿等受け入れにおいて適切に対応し、大会主催者等から高い評価を得ている。
- 良好なグラウンドコンディションを維持するために、グラウンド整備技術の向上・標準化や職員による器具・備品等の改善に積極的に取り組んでおり、環境整備技術の向上が施設利用者の満足度向上に繋がっている。
- 他施設での苦情であっても全スタッフがその情報を共有し、より安全で利用しやすい環境づくりに取り組んでいる。
- ホームページをこまめに更新し、より正確な利用スケジュールや教室案内を提供している。また工事などにより利用不可な期間や変更点などをリアルタイムに情報提供することで、利用しやすい施設づくりに取り組んでいる。
- 常に職員が施設のチェックを行い、壁やベンチの塗装など、簡易な修繕等は職員自身が即時実施することで、施設の安全や美観の維持に努めている。

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

[所見]

維持管理経費

(単位：円)

区分	【参考】R1年度	R2年度	R3年度	前年度比較
委託料	7,215,080	4,728,593	7,958,170	3,229,577
修繕費	11,422,897	8,350,999	4,515,998	▲3,835,001
光熱水費	19,779,744	72,354,537	86,629,002	14,274,465
人件費	65,349,029	103,491,894	108,382,055	4,890,161
その他経費	2,664,921	4,605,944	4,690,892	84,948
合計	106,431,671	193,531,967	212,176,117	18,644,150

※ ・・・評価対象年度

- スピナの特徴である「多角経営」を活かし、日常的な清掃、防火設備の緊急修繕、その他多くの小修繕を自社社員が行うことで、安価で迅速な対応を可能とし、また、施設や用具の理解を深めることにもつながっている。
- 燃料費単価の上昇に伴い、桃園市民プールでの空調等に使用するガス・電気の使用にかかる光熱水費が増加した。
- 職員による定期的な施設内外巡回パトロールを通じて設備・備品類の不具合箇所の早期発見・補修に取り組み、無駄の無い効率的な施設運営に努めている。

(2) 収入の増加

- ① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

【施設使用料収入】

(単位：円)

区分	【参考】R1年度	R2年度	R3年度	前年度比較
プール(1)	9,706,623	18,222,663	16,219,886	▲2,002,777
庭球場(1)	8,933,103	10,223,668	7,314,858	▲2,908,810
野球場(2)	2,645,028	2,513,361	1,807,009	▲706,352
弓道場(1)	599,470	301,100	284,890	▲16,210
運動場(1)	2,733,450	2,330,990	1,874,230	▲456,760
合計	24,617,674	33,591,782	27,500,873	▲6,090,909

※ ・・・評価対象年度

- 水泳やテニス等の各種運動教室や新設した桃園スタジオを活用した主婦層向けのダンス

教室等、多様なプログラムを提供し、利用者の拡大に繋げている。
また、参加者にクラブ・サークル化へ移行するように働きかけを行い、リピーター集客に取り組んでいる。

- 球場の空き状況を桃園・大谷・的場池・ひびきコスモスの 4 球場で把握し、ある施設で空きが無い場合に他の施設を紹介し利用してもらう等、効率的な施設利用を行っている。
- 日本製鉄大谷体育館と定例会議を開催する等して連携強化を図り、大谷球場利用者・観覧者の駐車場問題等に対応している。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

[所見]

- スピナの特徴である「多角経営」を活かし、日常的な清掃、防火設備の緊急修繕、その他多くの小修繕を自社社員が行うことで、安価で迅速な対応を可能とし、また、施設や用具の理解を深めることにもつながっている。
- 各スポーツ施設に管理運営経験者を配分し、専門的な知識・技術の共有を図り、職員全体の資質の向上に取り組んでいる。
- 施設運営に関する“衛生管理責任者講習会”、“防火管理者講習会”、“芝管理講習会”を受講し、講習会終了証を取得し、スタッフの管理運営能力の向上に努めている。
- 外部講師を招き、球場グラウンド整備の実技指導や講習会を行うことで、グラウンドキーパーの技術向上を図っている。
また、桃園・大谷・的場池・ひびきコスモス 4 施設のグラウンドキーパーが連携しながら効率的な整備作業を行うとともに、質の向上にも努めている。
- 利用広報・営業活動により、地域の学校部活動や夏場の近隣幼稚園児の水遊び、海上保安庁の水泳訓練等で利用されており、利用者増加だけでなく、地域団体等に活動の場を提供することにも貢献している。
- 花尾中学校PTA からの「コロナでイベントができなかった生徒の思い出作りのために、球場で花火をあげたい」との要望に対し、PTA や関係各所と綿密に協議、調整を行うことで無事に実施することができており、地域活動に貢献している。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報を守るための対策が適切に実施されているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。

⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

【所見】

- スピナグループ企業の教育プログラムやマニュアルを活用し、桃園体育施設においてもそれらの教育を全スタッフに徹底し、適正かつ厳正な運営を行っている。
- 施設の公共性・公平性を担保していく為に「条例に基づいた運営」を行い、施設利用団体や個人利用者に対してきめ細かな説明を行っている。
- スピナ本社管理スタッフで行う「職場安全パトロール」、本部スタッフによる定期的パトロールの実施、他施設での事故報告会や勉強会等の開催を通して、事故未然防止に向けた取組みを推進している。
- 社内外で発生した労働災害・ヒヤリハット事例の紹介をし、各施設職員の安全意識向上に努め、事故未然防止に努めている。
- プール運営管理のマニュアルを作成、職員全員に配布し、突然発生するあらゆる事案にも落ち着いて的確な対応ができるよう、日ごろから教育を行っている。

【総合評価】

【所見】

- スピナの特徴である「多角経営」を活かし、日常的な清掃、防火設備の緊急修繕、その他多くの小修繕を自社社員が行うことで、安価で迅速な対応を可能とし、また、施設や用具の理解を深めることにもつながっている。
- 利用広報・営業活動により、地域の学校部活動や夏場の近隣幼稚園児の水遊び、海上保安庁の水泳訓練等で利用されており、利用者増加だけでなく、地域団体等に活動の場を提供することにも貢献している。
- スピナ本社管理スタッフで行う「職場安全パトロール」、本部スタッフによる定期的パトロールの実施、他施設での事故報告会や勉強会等の開催を通して、事故未然防止に向けた取組みを推進している。

【今後の対応】

- 今後も、施設利用者や各団体等とコミュニケーションを密にし、利用者増、施設の利便性・満足度の向上に努めていただきたい。